

STAX electrostatic panoramic-sound earspeaker

●スタックスのコンデンサーイヤースピーカーがレコードの検聴やモニター用として放送局やレコード会社で広く使用されていることはすでにご存知の方も多と思います。これはスタックスのイヤースピーカーの音質が、非常に優れているからにはかたがた、一般的にヘッドフォンがスピーカーシステムより高いクオリティを獲得する要素としていくつかあげることができます。すなわち①リスニングルームの音響条件に左右されない。②発音ユニットの空気負荷が少なく振動系の軽量化が可能となり、トランジェント特性の向上が望める。③スピーカーシステムを使用する際に起こるプレイヤーへのハウリングが全くない。④耳にはほとんど直接、音が入るのでどんなに微細な音も聴き取ることができる。

——これら一般的な特長に加えてコンデンサー型では①振動系に薄さ数ミクロンの高分子フィルムを使用するので紙(コーン紙)や金属に比べ非常に軽くすることができ一層微弱な信号も確実に音に変換できる。②ダイナミック型のようにマグネットを使わないので、磁気歪から解放される。③静電気の方で動作させ、また制御するので発音体(振動膜)の分割振動が非常に少ない。——などの利点をつけ加えることができます。

●SR-Σはスタックスが4年の歳月を費やして完成した全く新しいイヤースピーカーです。音場というそれまでヘッドフォンでは望み得なかった空間の拡がり感を見事に再現しました。これは写真でもおわかりのように極めて独特の構造により実現されています。私達が普段音楽を聴く時の音の状態を考慮して発音ユニットを耳の前方に配置し、外耳を押さえつけたりすることなく、音の伝達の重要な経路として捉え直し、周囲に適度な音響空間を創成しています。これにより音が頭の芯に集中する現象もありません。加えて頭にピッタリフィットするヘッドバンドと必要最小限の側圧、そして外観とは裏腹の軽質量でとかくヘッドフォンにありがちな密室感を取り除いています。

SR-Σ ¥38,000



●SR-Δを初めてお聴きになる時、おそらくは、ああ、いい音だ。とお感じになるに違いありません。その理由は発音ユニットが小判型であるからです。耳は、誰でもタテに長い楕円形をしているのですからその全面積に音を送るようにしたわけです。もちろん、その方式がコンデンサー型であることも理由のひとつにあげられますが、耳の外形のままに音を送り込むことにより耳が本来持つ機能がフルに発揮されるのです。——考えてみれば、私達が通常、音を聴く時、音が直接鼓膜にあたることはむしろ少なく、外耳道を通しての反射音のほうが多い位なのです。耳より大きい振動面積を持つユニットにより中低域はより豊かに、中高域にかけてはコンデンサー独特のクセのない美しい音質が、あなたを陶酔の世界へ誘うでしょう。

SR-Δ ¥28,000

